

戦争から考える人権のこと

小六

今、ウクライナへ軍事しんこうをしたロシアについて多くの報道がされています。たくさんの方が亡くなり、学校や病院にも爆弾が落とされていて、す。それだけでなく、ウクライナへしんこうしたとして、世界中の人々がロシア人を差別しています。私は、世界のこの行動が本当に正しいのか疑問に思いました。

日本でも、ある駅でロシア語にほん訳されている駅名の部分がかくされていたという報道がされていました。駅員の人は「批判が強く、かくすしかなかった。」

と言っていました。私はこの話を聞いたとき、何か違和感いわかんをもちました。そこでこのことについて、一度考えてみることにしました。すると、自分の中で二つの考えが出てきました。

一つ目は、「戦争で人を殺すことは人権のしん害になる」ということです。二つ目は「日本の駅で行ったロシア語をかくす行いも人権のしん害にあたるのではないか」ということです。もちろん、人の命をうばう行為は絶対にいけないことですが、全てのロシア人の方がウクライナへのしんこうをよいと考えているわけではありません。日本に住むロシア人の方にとって、駅名のロシア語はとても大切なものです。それをかくすのは、いけないことだと思います。この二つの考えから、私は

どうすれば世界中の人々が幸せにくら
いて思います。
していけるのか考えてみました。

一つ目は、「小さなことで争わない」
ということ。一人一人が広い心を
もち、相手や周りのことを考えてから
行動することを大事にすればよいと思
います。二つ目は、「差別をしない」と
いうことです。日本ではまだ差別が起
こっています。調べてみると「ジェン
ダー差別」があると書かれていました。
そして、差別を行わないために大切に
することを考えてみました。それは、
一人一人のよいところをたくさん見
つけることです。また、相手がいやかど
うかを考えて行動することです。まず
は私がこのことを守り、周りに広めて
いきたいです。世界中のみんなが人権
のしん害を行わない世の中になればよ